

校長室から(6月)

令和8年度 学校経営計画について御説明いたします。本年は「静岡県総合計画」の2年目にあたります。今年度、本校では以下の教育目標を掲げ、全力を尽くしてまいります。

今年度の教育目標

『自己を理解し、主体的な深い学びと豊かな情操を育み、自らの力で未来に踏み出すこどもを育成する』

この目標には、こどもたち一人ひとりの豊かな人生の実現を目指し、持てる力を最大限に伸ばしたいという思いを込めています。

『自己を理解し』に込めた思い
障害の有無や特性だけでなく、一人ひとりの「強み、好き、個性」を含めた「自分という人間全体」を深く愛し、自分を丸ごと認めること。これこそが、前向きに生きるための本当の土台となります。

『自らの力で未来に踏み出す』
受け身で社会に加わるのではなく、豊かな心を育みながら、**自分の人生を自分の足で、主体的に切り拓いて**いってほしい。学校はそのための「踏み出す力」を養う場所でありたいと考えています。

卒業までに身に付けてほしい「三つの姿」

1. 「前向きに自分らしく生きる姿」。

人と比べるのではなく、自分の良さを知り、自分を好きになること。その自信が、困難に立ち向かう一歩を生み出します。

2. 「豊かな心で人と関わり社会と通じ合う姿」。

自分の思いを伝え、相手の思いを受け止める。「言葉」を通して、他者や社会とつながる力を育てます。

3. 「学びをつなげて未来に踏み出す姿」。

教科の学習だけでなく、経験や人との出会いすべてを「学び」としてつなぎ、自分の人生を自分で切り拓いていく力を育みます。

教育活動の軸となる「三つの柱」

【ア：安心安全で、信頼され笑顔あふれる学校】

こどもたちが「学校が楽しい」と思えるよう、人権を尊重し、安全・安心を徹底することで、こどもも教職員も笑顔で過ごせる環境を整えます。

【イ：言葉通して確かな学びをつなげる授業】

「分かった」「伝えたい」という意欲を大切にします。教員の専門性を維持・継承し、言葉を通して学びが深まる授業づくりをします。

【ウ：つながりの充実】

本校が持つ「聴覚障害児教育のセンター的機能」をさらに磨き、地域や社会との連携を深めます。多様なつながりの中で、生きた教育を推進します。

おわりに

本日、中学校3年生を対象とした教育相談会を行いました。一緒に活動する高等部生徒の様子から、確かな成長を感じることができました。参加した生徒や保護者の皆様にとって、今回の教育相談会が進路選択の一助になれば幸いです。

『愛と自由と誠心』の校訓のもと、お子さんが自らの力で未来に踏み出せるよう、教職員一同、一丸となって推進してまいります。引き続き変わらぬ温かい御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和8年6月 静岡県立沼津聴覚特別支援学校 校長 高橋 潤子

